

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月24日(土)② 担当部局・担当課名: 商工労働部労働政策課

事業名	アジア高度人材受入事業	評価結果	抜本的改善
-----	-------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】
・今後、少子高齢化が進むことから、富山県だけの問題ではなく、国で実施すべき。
・国策として外国人雇用の入り口部分を国が行い、そこから先を各県が担うというやり方も考えるべき。
【県民評価者の意見】
・国全体で人材の受入れを増やさないと、富山県だけが動いてもなかなか人は来ない。
・現在、富山県にいる高度人材から、富山で働きたいと思った理由や魅力を聞いて参考にすべき。
・世界と比べて賃金が低い日本の中でもさらに賃金が低い富山県を選んでもらうには、本県にしかない魅力をPRする必要があるので、国ではなく県でこの事業を続けるべき。また、賃金以外の魅力である住みやすさや、外国人コミュニティの存在などをもっとPRすべき。
・外国人材とマッチングを希望する事業者の間でニーズのずれがあると思う。外国人材がより本県で働きたいと思えるような支援が必要。

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	18
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業を廃止)	役割分担 見直し (国で実施)	抜本的改善 (例: 委託事業ではなく 受入実績に応じた補助 事業に変更)	一部改善 (例: ボトルネックの分 析、既存留学生の活 用)	現行どおり ・拡充
	2	2	9	5	0
県民 評価 者の 主な コメ ント	評価 結果 と 上 記 以 外	【抜本的改善】			
		・国内の留学生にもターゲットを広げたほうが良い。 ・1社への委託ではなく、成果に対する補助制度とした方が良い。 ・委託先を複数に増やし、より多くの国とマッチングできるようにするべき。			
		【一部改善】			
		・対象国を限定するべきではない。 【行政の関与不要】 ・民間に委ねるべき 【役割分担見直し】 ・国が実施するべき			

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	1	2	1	0

事業名	アジア高度人材受入事業	評価結果	抜本的改善
-----	-------------	------	-------

【県の対応】

今後の 対応方針	廃止	事業廃止			
	○本事業は廃止 ○本事業で実施していた採用内定者に対する入国前の日本語教育等(富山就職プログラム)は、他の事業と統合し、事業スキームを新たにして、「外国人材活用・定着支援デスク」による外国人材の活用・定着促進の強化を図る。				
令和7年度 当初予算 での対応	R7当初予算 (要求額)	-	R6当初予算	17,257(千円)	増減額 ▲17,257(千円)
	増減理由	事業廃止による減 (廃止・統合による新たな事業は下記のとおり)			

当初予算編成プロセスの見える化

令和7年度当初予算	要求状況	要求額	9,320(千円)		前年度予算額	-
		事業の目的	県内企業における高度外国人材等の活用促進			
		事業内容	【外国人材活用・定着促進事業】 企業と外国人材のマッチングを支援してきた「とやま外国人材活用支援デスク」を「とやま外国人材活用・定着支援デスク」に改組し、「アジア高度人材受入事業」の「富山就職プログラム」の要素を組み込み、新たな事業スキームで実施。 (内容) ① 外国人材の活用等に関する総合的な相談対応 ② 県と連携契約をしている人材紹介会社を通じたマッチング支援 ③ 外国人材活用セミナーの開催 ④ 「富山就職プログラム」を実施した場合に、当該経費等を補助			
		積算内訳	①②3,226千円 ③1,094千円 ④5,000千円			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、委託ではなく受入企業が主体となる補助制度に見直し、マッチングが成功した人材に対する支援とするなどの見直しが行われている。			
	最終的な予算案	予算額	9,320(千円)			
		要求時点からの変更点	変更なし			